

第2章 行動計画（2023年度）

1. 計画の実行方針

2023年度は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が読めないため、2020年度から2022年度にかけての3年間で失った患者数を増やすことに注力することとし、基本的な戦略は市民病院を利用された方に良い体験をしていただいてリピーターになっていただくこととします。

また、職員全員が経営改善に貢献できるような仕組みを構築します。

2023年度の目標を、キャッシュフローの改善と入院患者数の増加に絞って、以下の5つの施策を行います。

- ① 両病院を受診したいと思っていただけるようにするために、病院の機能等の情報のかかりつけ医にお届けすることや、広報すること
- ② 受診希望の患者を円滑に受け入れ、的確に診断して入院に結びつけること
- ③ 外来から病棟そして退院後までの流れが不安なく進むように業務改善すること
- ④ 原価計算、DPC分析、経営支援ソフトの活用やクリニカルパス分析を用いて収益性を向上すること
- ⑤ 価格交渉力を高めて支出削減すること

2. タスクフォースの設置

上記の**実行方針に基づき**、集中して取り組むべき課題を3つに整理し、3つのタスクフォースを設置する。

※設置するタスクフォース

（市民病院）

- ・認知度向上（集患）タスクフォース
- ・入院患者増加（増患）タスクフォース
- ・収益性改善タスクフォース

3. 実施事項のモニタリングと検証

各施策の進捗状況と効果の検証については経営管理会議（月1回）で行うほか、経営改善委員会でも報告し、その評価について審議するものとします。